

工事現場の安全対策にかかる創意工夫

整理番号：18

分類	第2章第1節3.狭い作業空間での機械施工に際しての安全確保
事例名称	巨石水制施工にバックホウグラップルを活用
対策の概要	
<p>クレーンを用いた巨石水制の施工は、巨石への玉掛けや据付け時のワイヤー外し等、巨石を完全に据付けるまで玉掛者が巨石の横に立入らなければならない作業が避けられない。また、ワイヤーの滑りや巨石からの引き抜き時等思わぬ石の転倒が想定され、重大災害の発生が充分考えられた。</p> <p>1.2 m³級バックホウにグラップルというアタッチメントを取付けることで、作業員が立入らなくても、巨石の向きの変動や据付けが可能となり、4t以上の巨石や、1t～3tの間詰石を据付けるという作業において、不安定な場所に作業員が立入ることなく安全かつスムーズな作業が可能となった。</p>	
天神護岸その3工事	
グラップルでの作業状況	
	
	グラップルでの作業では 合図者や作業員が機械 と一定の離隔を保てる
	
<ul style="list-style-type: none">○玉掛け作業がない○巨石の掴み、離し、向きの調整等全てグラップルのみの作業	